

ひさいしやしえんじょうほう
被災者支援情報

Disaster
Relief
Information

受灾者支援信息

피재자 지원 정보

事例紹介： 外国人被災者への情報伝達

令和3年度「災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修」

人と防災未来センター

主任研究員

楊 梓

熊本地震
多言語支援センター
Disaster Relief Support Center

熊本地震多言語情報支援センター

Photo by 楊梓 201606

楊 梓(ヨウ シ) YANG Zi

2009年 日本に留学@京都
2011年 横浜国立大学@横浜
2018年 人と防災未来センター@神戸

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター



人と防災未来センター主任研究員 博士(工学)

●研究分野：

災害時の外国人対応/多文化共生まちづくり/GISを用いた地域特性分析…

最近の研究テーマ：

- ・外国人への合理的な配慮についての研究
- ・箕面市における地域の外国人リーダー育成のあり方
- ・災害初動期における紙地図を用いた状況認識の統一

●災害支援経験

2018年：大阪府北部地震、7月豪雨、北海道胆振東部地震

2019年：佐賀水害、台風19号

2020年：7月豪雨

●委員会の就任

- ・兵庫県国際交流協会災害時外国人支援助成事業審査委員
- ・鳥取県、三木市、高砂市、防災会議委員
- ・R2三田市人と人との共生条例の策定に関する懇話会委員
- ・R2自治体国際化協会多言語指差しコミュニケーションボード作成検討会委員 など

流れ

- 外国人被災者への情報伝達
 - ① 災害時のニーズと情報
 - ② 情報伝達の事例
- 情報伝達ができるように
 - a. 事前の備え
 - b. 災害多言語支援センター
 - c. 外国人担い手の養成

①災害時のニーズと情報



取扱い情報の充実
—求められているライフライン情報—

- 水の供給場所
- 通行可能道路
- 電気
- ガス
- 食料品、生活必需品の購入
- 鉄道運行情報
- ガソリン
- 銭湯
- 電話、電波

(出典) 第1回資料1-7「公共情報コモンズに関する取組みと今後への期待」
(ヤフー株式会社)

公共サービスの供給情報
(鉄道、電気、ガス、電話、水道、道路等)

生活必需品の供給情報
(スーパー・コンビニ、ガソリンスタンド、入浴等)

出典：総務省：「災害時等の情報伝達の共通基盤の在り方に関する研究会」報告書，平成26年8月，
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01ryutsu06_02000065.html



①災害時のニーズと情報

■必要な情報と情報伝達の方法

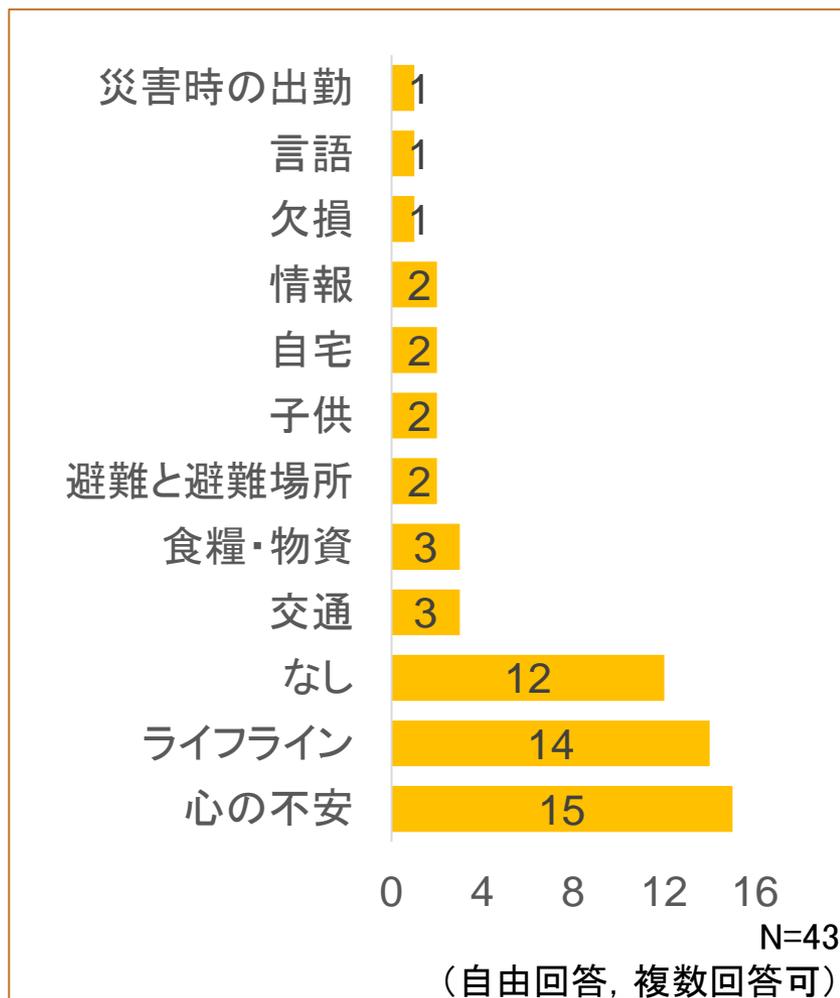
	発災前 (風水害等)	発災前 (地震、津波、ミサイル)	発災直後(数時間)	応急対応時間 (救助、救援)	復旧、復興期間 (被災者支援)
必要な情報	災害予測情報 被害予測情報 避難勧告・指示等	地震・津波情報 避難勧告・指示	被災情報 ライフライン情報 避難所情報等	被害状況 安否情報 ライフライン情報 避難所情報等	ライフライン 復旧情報 避難所情報等
情報伝達に必要な機能	PUSH型 広範囲、多人数カバー ＋ PULL型 (詳細情報)	PUSH型 速報性	PUSH型 広範囲、多人数カバー ＋ PULL型 (詳細情報)	PUSH型 広範囲、多人数カバー ＋ PULL型 (詳細情報)	PUSH型 広範囲、多人数カバー ＋ PULL型 (詳細情報)
電源	通常電源	通常電源	停電の可能性あり	停電の可能性あり	通常電源
ネットワーク			輻輳、被災の可能性あり	被災の可能性あり	
防災行政無線	◎	◎	◎	○	○
エリアメール・ 緊急速報メール	◎	◎	×	×	×
登録制メール	◎	△	○	○	◎
SNS	◎	△	○	○	◎
コミュニティ放送	◎	◎	◎	◎	◎
CATV	◎	○	○	○	○
ワンセグ放送	◎	○	○	○	◎
IP告知放送	◎	○	○	○	◎
ラジオ	◎	◎	◎	◎	◎
テレビ	◎	◎	○	△	△
備考	◎：有効、○：場合により有効（停電無い場合など）、△：あまり有効でない、×：使用不可				

出典：内閣府（防災担当）：被災者への「情報提供」の推進について（生活情報・生活再建関連情報）
<http://www.bousai.go.jp/kaigirep/kentokai/hisaishashien2/pdf/dai7kai/siryu2.pdf>

① 災害時のニーズと情報

■ 2018年大阪府北部地震

外国人が困ったこと欲しかった支援の調査結果

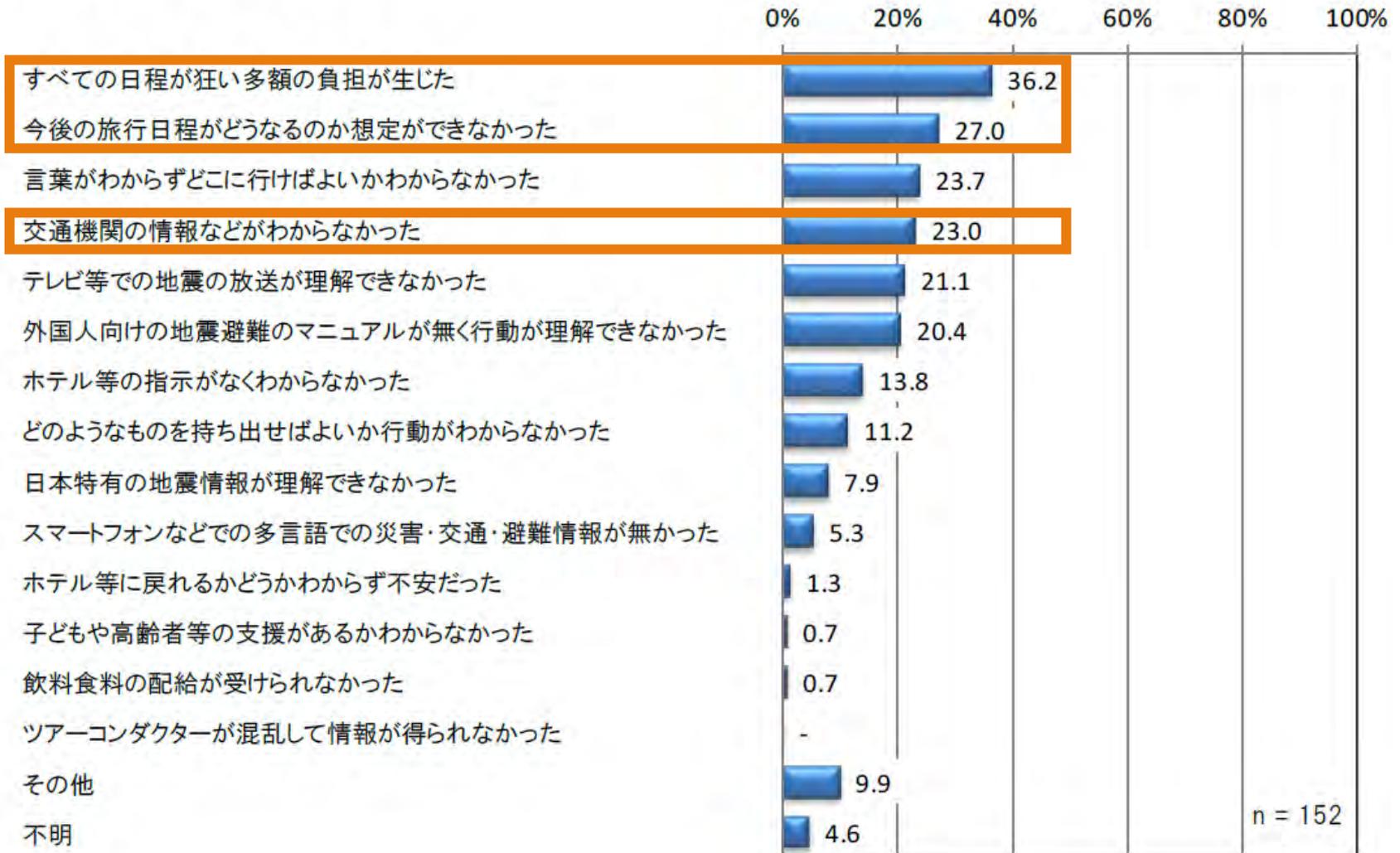


(2019年筆者調査)

① 災害時のニーズと情報

■ 2018年大阪府北部地震

外国人旅行者は地震発生時に困ったこと



出典：株式会社サーベイリサーチセンターの調査 <https://www.surece.co.jp/research/2441/>

②情報伝達の事例

■2016年熊本地震

- 熊本市国際交流会館が熊本市地域防災計画（平成27年風水害編）に基づき、外国人避難対応施設として1～2階に避難者を受け入れた。
- 4月15日未明に韓国籍のインターンシップ生と近くに住む日本人が会館に避難。
- 16日の朝、外国人旅行者（約80人）が、早く熊本を出たいと相談に来たため、タクシーを手配している。
- 16日夜には、約40名の外国人（中国、韓国、バングラデシュ等）避難者を受け入れた。その後、24時間の避難所運営は4月30日まで続いた。
- 避難スペースの提供以外に、多言語情報の提供や避難所の巡回、外国人のための生活相談会等の支援を行っている。

熊本市国際交流振興事業団事務局長へのヒアリング
(2016年筆者調査)



熊本市国際交流会館の外観（筆者2016）



写真：熊本市国際交流振興事業団事務局長より

②情報伝達の事例

■2016年熊本地震

- ▶ B教会：外国人への支援拠点として機能した。教徒への外国語での情報提供や物資、特に宗教習慣にあう食事を提供。教会のネットワークやSNS、ホームページを介して、全国から支援が届き、外国人のみならず地域住民や友好団体にも物資を転送。

- ▶ Kumamoto International
Facebookを通じ、熊本地震の情報収集を行い、英語で情報発信を行った。その後の災害も情報支援を行った。

(https://www.facebook.com/Kumamotoi/?ref=page_internal)



- KEEP (Kumamoto Earthquake Experience Project)

- ・外国人のための防災を考える留学生グループ。ワークショップやブログ、Facebookを通じて、熊本地震時の経験などを発信。
- ・2020年7月豪雨の時に、情報収集を行い、英語で発信を行った。



(<https://www.facebook.com/kumadaiquake/>)

②情報伝達の事例

■2018年大阪府北部地震

箕面市の避難所

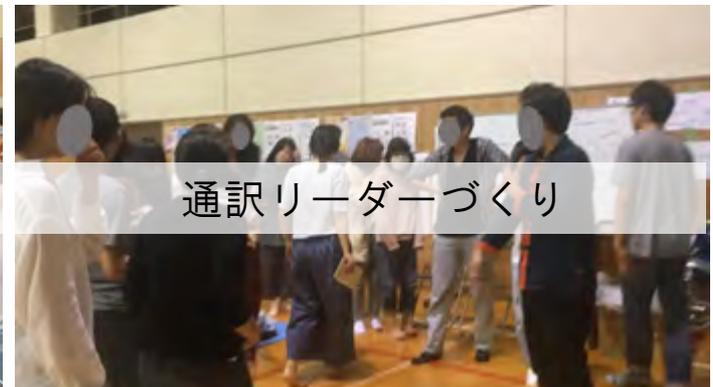
- 夜間には震度4程度の余震が発生し、外国人が多く避難してきた。最多は約130人。
- 避難者の多くは近く住んでいる留学生とその家族。
- 理由は、「余震が怖い」。



多言語情報の掲示



ニーズ把握・多言語相談



通訳リーダーづくり

- 箕面市、箕面市国際交流協会、福祉社会協議会が、避難所巡回を行い、外国人の避難の実態を把握し、支援も提供した。
- 日本語ができる留学生を「通訳リーダー」として選び、避難所の担当者らと密にコミュニケーションをとっていた。

(写真は箕面市国際交流協会より)

②情報伝達の事例

■ 2020年7月豪雨

● A市国際課の対応

- ・ 住民基本台帳を用い、被災地域内の外国人登録状況を確認。
- ・ 避難所に外国人被災者の情報を確認。
- ・ 県のサポートセンターの相談ダイヤルを市HP、FBや、Twitterにやさしい日本語で掲載。
- ・ 電話通訳サービスの多言語対応する体制を整備。

● 県の対応

- ・ 県の災害対策本部資料中に外国人対応の項目が入った。
- ・ 外国人サポートセンターも立ち上げ、多言語情報（やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、カタログ語）を、県国際交流協会協会のホームページやFBを中心に発信。
- ・ 発災直後に、市町村の国際担当との電話で連絡を取り、市町村の外国人被災者の状況と必要な支援について情報収集した。県から派遣された避難所要員に対する情報収集も行った。
⇒情報収集を行った時点で、避難所に外国人がいなかった。
- ・ 国際課の課題：多文化共生担当が1名のみ。



(A市避難所 2020年7月撮影)



しかし、外国人の情報があまりなかった。

- ・ 避難所に行って、名簿上に国籍を記入する欄がなく、名前だけで外国人を判断したため、「いなかった」
- ・ コロナの影響で、直接に被災者と話ができず、多くのところを回れなかった。

⇒所在とニーズの把握が困難

②情報伝達の事例

■ 2020年7月豪雨

● 被災者の情報収集について

- ・ 有効な情報ツール：Line、FBなどのSNSが有効。電話（での通話）も重要。
- ・ 頼りになるネットワーク：母国語によるコミュニティ（友人）

調査から感じたこと：

● 公的機関による情報発信・伝達の効果が薄い。

⇒身近な信頼している人からの情報は、見知らぬ他人（行政など）からの情報に比べて、実際の行動に結びつきやすい。

⇒コミュニティごとに使う通信ツールが異なるため、各コミュニティの文化や習慣をふまえ、情報発信の内容や発信方法を考える必要がある。

● 被災者は必ず指定避難所に行くとは限らない。

⇒外国人も、避難所に行かない人が多くいる。感染症の影響で、さらに増えるとも考えられる。

⇒指定避難所以外の多様な避難先となり得る場所（外国人が集まりやすい場所）において、被災者のニーズ把握や情報発信などの対策を事前に検討する必要がある。

● 外国人コミュニティの力が大きい。

②情報伝達の事例 ■佐賀の事例

● 2019年8月大雨

- 佐賀県災害対策本部が設置された後に、**県国際課**と**佐賀県国際交流協会**が協働で**災害多言語支援センター**を開設・運営した。
- 支援内容は、HPにおいて、**災害情報**、**気象情報**、**交通情報**のような緊急情報と、**断水**、**ゴミ収集**などの生活再建に関する情報を収集・整理し、**多言語**（やさしい日本語、英、中、韓、ベトナム、タガログ、インドネシア、ネパール）で情報を発信した。
- 外国人関係機関へ被害状況を確認したり、市町の避難所を巡回して外国人情報収集などを実施した。

8/29 (水) 08:00 ~ 14:00	英語	中国語	韓国語	ベトナム語	タガログ	インドネシア	ネパール
① 金土・久保泉断水 (11:40) 多言語 (14:00)	済	済	済	済	済	済	済
② リ災証明書について (19:45) H.19.20	済	済	済	済	済	済	済
③ ゴミ収集情報 (14:00) 上道市 (14:00) 小石川 (14:00) 多々市 (14:00)	済	済	済	済	済	済	済
④ 水害にあつたお宅へお詫言ひ (14:00) (NPO) (2019.8.29)	済	済	済	済	済	済	済
⑤ ゴミ収集情報 (高取) 武雄 大町町 佐賀市	済	済	済	済	済	済	済
⑥ 冠水の車 感電の危険 (女) 8:30, 14:00	済	済	済	済	済	済	済
⑦ 衛生面 (食中毒) 平久保町	済	済	済	済	済	済	済
⑧ ホラニアに行く際 (眼) (16:10) (16:10) (16:10) (16:10) (16:10) (16:10) (16:10) (16:10)	済	済	済	済	済	済	済
⑨ ゴミ収集情報 (2:00) 大町町 白石 武雄	済	済	済	済	済	済	済
⑩ ゴミ収集 (更新追加) 大町町 白石 武雄	済	済	済	済	済	済	済
⑪ 家屋清掃時の注意 (感染症) 8/29	済	済	済	済	済	済	済
⑫ 川のゴミ収集 (11:00) (11:00) (11:00) (11:00) (11:00) (11:00) (11:00) (11:00)	済	済	済	済	済	済	済

翻訳状況一覧表 (佐賀県国際交流協会より)

● 2021年8月大雨

- 8月11日、大雨が降り始めた時、**大雨警報**、**避難指示**、**河川氾濫注意**などの情報を、**HP**、**FB**、**Line**により多言語で発信した。
- 8月14日、県災害対策本部が設置し、**災害多言語支援センター**の設置を決めた。
- 多言語支援センターでの発信情報は：**気象情報**（警報など）、**土砂災害**・**河川氾濫**への注意、**り災証明書**、**感染症**の注意喚起、**災害ゴミ**の収集、**家屋**を片付ける場合の**注意事項**、**冠水**した車の対処、**壊れた太陽光発電設備**への注意、**ワクチン接種** ⇒2年前の発信した情報も参考

(2019年と2021年筆者調査)



a. 事前の備え 支援者を知ってほしいツール

自治体国際化協会 (多文化共生) <http://www.clair.or.jp/j/multiculture/index.html>



●河川氾濫の可能性があります

AA川のBB観測所 (CC市) 付近で水位が上がり、避難勧告発令の基準となる水位 (氾濫危険水位) に到達しました。堤防が壊れるなど、浸水するかもしれません。

防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、すぐに身の安全を確保してください。

[英語](#) | [中国語](#) | [韓国・朝鮮語](#) | [ポルトガル語](#)
[スペイン語](#) | [タガログ語](#) | [インドネシア語](#) | [ベトナム語](#)
[タイ語](#) | [やさしい日本語](#)

災害時多言語表示シート
<http://dis.clair.or.jp/>

多言語災害情報文例集

<http://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/saigai.html>

1. 言語の確認

日本語はわかりますか?

はい / YES | いいえ / NO

何語がわかりますか?

英語 English	ポルトガル語 Português	タイ語 Thai
中国語 (繁体字) 中文 (繁体字)	スペイン語 Español	ミャンマー語 မြန်မာစာ
中国語 (简体字) 中文 (简体字)	フランス語 Français	インドネシア語 Bahasa Indonesia
韓国・朝鮮語 韓国・朝鮮文	ロシア語 Русский язык	ベトナム語 Tiếng Việt
タガログ語 Tagalog		その他 Others

2. 避難所スタッフ用 | 表面

避難所スタッフ用 | 表面

はい / YES | いいえ / NO

何語がわかりますか?

避難所スタッフ用 | 表面

避難所スタッフ用 | 表面

3. 被災外国人用 | 表面

・対応言語は14言語で、各地域の居住実態にあわせてセットを変更される場合は、Wordデータの編集も可能。

・避難所等で被災外国人の氏名、体調、食事制限など支援に必要な情報を確認する際に使用する「[多言語避難者登録カード](#)」や「[食材の絵文字 / FOODPICT](#)」と併せてご使用ください。

多言語指さしボード <http://www.clair.or.jp/j/multiculture/tagengo/yubisashi.html>

a. 事前の備え ⇒ 引継ぎができるようにしてください

□ 多言語辞書データ

多言語辞書データ

気象情報等で用いる用語等について、多言語に翻訳したリスト「多言語辞書」を提供しています。
 ※日本語、英語、中国語（繁体字・简体字）、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、インドネシア語、ベトナム語、タガログ語、タイ語、ネパール語、クメール語、ビルマ語、モンゴル語

気象情報等の詳細については、[気象庁防災情報XMLフォーマットのページ](#)をご参照ください。

→ 多言語辞書データ [xlsx形式: 1.7 MB] **2020年3月17日更新: 11か国語から14か国語に拡充**
 ブラウザによっては文字化け等が発生する場合があります。その場合は、右クリック等によりファイルをダウンロードの上、ご利用ください。

(利用上の留意点)
 ・データの利用においては、[気象庁ホームページの利用規約](#)を遵守ください。

多言語辞書データの更新等については、「気象庁防災情報XMLフォーマット」に関する技術資料等の更新として、メールでお知らせします。お知らせをご希望の方は、件名を「<メール配信希望> 気象庁防災情報XMLフォーマット」とし、本文に連絡先電子メールアドレスを明記のうえ、「jmaxml@met.kishou.go.jp」(※は@に変更してください)までメールを送付願います。送付いただきましたメールアドレスは、本連絡のみ利用し、それ以外には利用いたしません。

お問い合わせ
 2019年3月29日 多言語辞書公開: 6か国語 (日本語・英語・中国語(繁体字・简体字)・韓国語・スペイン語・ポルトガル語)
 2019年7月31日 11か国語に拡充(インドネシア語・ベトナム語・タガログ語・タイ語・ネパール語追加)
 2020年3月17日 14か国語に拡充(クメール語・ビルマ語・モンゴル語追加)

(気象庁)

<https://www.data.jma.go.jp/developer/multilingual.html>

□ 災害時に便利なアプリなど

災害時に使える!

▶ スマホスマートフォンアプリ

Safety Tips
 災害時の注意事項を知らずには済まされません。

▶ WEBサイト

災害時 日本

日本の自然災害に備える

災害時に便利なアプリとWEBサイト

▶ 防災アプリ

▶ 防災WEBサイト

(内閣府)

<http://www.bousai.go.jp/kokusai/web/index.html>

□ ハザードマップポータルサイト

ハザードマップポータルサイト
 ～身のまわりの災害リスクを調べ～

重なるハザードマップ
 ～災害リスク情報などを地図上で重ねて表示～

わがまちハザードマップ
 ～地域のハザードマップを入手する～

場所を入力
 国: 東京都 区: 北区 町: 千代田

表示する情報を選ぶ
 洪水(河川氾濫) 土砂災害 津波 消防防災情報

過去の代表的な災害事例をみる

(国土交通省)

<https://disaportal.gsi.go.jp/>



a. 事前の備え

★どんな人、何人、どこにいるかを事前に把握

- 在留外国人統計
- 国勢調査
- 住民基本台帳



避難行動要支援者名簿に登録
個別避難計画を事前に作成

★どんな場所が多く利用されるか、集まりやすいかを事前に知っておく

■【事例】浜松市

国際交流協会、日本語教室、エスニック料理の店、教会、観光地、駅、空港、クルーズターミナルなど

ブラジル・マスコミとHICEが協働で「防災情報記載 浜松ガイドマップ（ポルトガル語版）」を発行しました（10月発行）

このマップには、浜松市内の避難所にマークが記載され、さらに、浜松市の「防災ホットメール」や災害時に立ち上げる予定の多言語支援センターなどについての情報が掲載されています。在住ブラジル人の方々に広く活用していただけます。

このマップは、HICEやブラジルの店舗において無料で配布しています。このページからダウンロードができます。

名称：浜松ガイドマップ（防災情報記載）

発行者：APTA（アピタプロパガンダ）

発行部数：10,000部

防災情報：浜松市内の避難所、災害時多言語支援センターについて、防災ホットメールほか

問合せ：公益財団法人浜松国際交流協会（HICE）

電話（053）458-2170



表紙

a. 事前の備え

今すぐできる取り組み：戸籍課の活用



横浜市南区の「生活のしおり」（やさしい日本語、英語、中国語、ハンゲル、タガログ語、ベトナム語）

- 重要な生活情報**
- ・ 日本語教室のリスト
XXX地域：A教室
XXX地域：B教室
...
 - ・ 支援団体の連絡方法
XX国際交流協会
XXX-XXXX-XXX
(英：火、水、中：木、韓：金)
...
 - ・ 防災・減災対策
平時の備え
災害時の避難所

これは重要、捨てないで



箕面市外国人ウェルカムパック（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベトナム語、インドネシア語）



戸籍課

b. 災害多言語支援センター

多言語での災害に係る包括的な情報の提供を手段として、「日常生活にいち早く戻るための支援」を行うための活動拠点。（クレア 災害時の多言語支援のための手引き2018）

● よく行う支援活動



多言語情報発信

熊本地震多言語情報支援センター



避難所巡回・
ニーズの聞き取り

箕面市国際交流協会より



相談窓口

横浜市国際交流協会HPより



(避難所と指定したら)
避難所運営

熊本市国際交流振興事業団より

● 初動対応の課題

- ・ 職員間の連絡方法
- ・ 出勤の手段
- ・ 施設の被災状況
- ・ 鍵
- ・ 停電

● コロナ禍の課題

- ・ 3密のない空間
- ・ 連絡手段
- ・ リモートのツール

など

【対策】

- ・ 初動対応フローの作成
- ・ 停電時の対策
- ・ 感染症対策を考慮したBCP計画

b. 災害多言語支援センター

■ 佐賀県災害多言語支援センターの事例

(2021年筆者調査)

□ 2021年8月 支援センター設置時の状況

- リアルの本部を設置したが、翻訳、相談（事前に電話回線転送の設定済）などの業務は在宅でもできるため、**全員の参集が不要**。
- 支援センターは国際交流協会の職員だけでなく、県国際課の職員も一緒に行うため、普段使っている**Lineグループ**により連絡を取り合い、**グーグルスプレッドシート**を活用し情報共有を行った。

□ 支援センター設置・運営の訓練など

- 在宅が増えるため、**自宅からリモートワークの設定で、初動運営体制構築の訓練**を行った（11月）
- **リモートの対応も含む災害多言語支援センター初動マニュアル**を作成した。事前に**情報共有ツールのURL**を決めておき、**出勤組と在宅組の役割分担**を決めた。
- **感染症対応のBCP計画**を作成した。

①ハイブリッド型（リアルとリモート）の多言語支援センター

②完全リモート型（バーチャル本部）の多言語支援センター

は今後の方向かもしれない

c. 外国人担い手の養成

行政、国際交流協会、外国人支援団体、災害支援団体組織などは平時から顔の見えるつながりが大事

⇒例えば：外国人住民向けの防災講座を企画

● 意義

企画者は防災担当、関連団体とのつながりを作る。

● 企画時の工夫

◆企画メンバー：外国人当事者（必須）、
行政の防災担当（メンバーかアドバイザー）
自治会や自主防災組織のメンバー（内容による）

◆講師：行政の防災担当や消防職員（おすすめ）
→外国人住民との接触が少ないので、交流の機会を増やす。

◆講義の内容

- ワークショップやゲーム、ロールプレイ等で、楽しくするのが大切。
- すぐ使える生活のTipsを教える。
- 持ち出し袋やハザードマップの展示。

→内容の難易度や言葉の使用について、事前に外国人がチェックしたほうが良い。

c. 外国人担い手の養成



研修の様子 箕面市HPより

箕面市では、外国人市民が防災研修を受講し、自身の防災知識を高めるとともに、他の外国人市民に向けて、防災意識の啓発や災害時に正確な情報を得て多言語で情報発信を担う「外国人防災アドバイザー」を養成し認定した。

詳細：府内初 箕面市で外国人防災アドバイザーが誕生しました！～外国人市民の防災力の向上をめざします～

https://www.city.minoh.lg.jp/bunka/houdou_gaikokujinbousaiadvisor.html

尼崎市消防団では、特定技能生である外国籍女性が消防団員に入団した。地域の防災訓練の参加を通して、身近な外国人へ災害に対する意識啓発を行っている。

自治会の防災訓練に参加した外国人コミュニティと外国籍消防団員（筆者撮影2021年）⇒





參考資料

感染症蔓延期における災害時の外国人対応

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
主任研究員 楊 祥

目次

1. 災害と新型コロナウイルス (COVID-19)	2
1.1 災害の基本的な考え方	2
1.2 コロナ禍の災害対応	3
2. 感染症蔓延期における災害時の外国人対応	5
2.1 前提は「外国人」を知る	5
2.2 コロナ禍の災害時外国人対応のあり方	6
【参考】防災・減災の書籍とお役に立つツール	10
著者のプロフィール	11

2021年2月 作成

① 2021年総務省災害時外国人支援情報コーディネーター研修資料：感染症蔓延期における災害時の外国人対応
https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/chiho/132137.html

【内容】

1. 災害と新型コロナウイルス (COVID-19)
 - 1.1 災害の基本的な考え方
 - 1.2 コロナ禍の災害対応
 2. 感染症蔓延期における災害時の外国人対応
 - 2.1 前提は「外国人」を知る
 - 2.2 コロナ禍の災害時外国人対応のあり方
- 【参考】防災・減災の書籍とお役に立つツール

DRI Special Issue No.4 2020

018 特別レポート No.4 2020

知ってほしい：感染症蔓延期における災害時の外国人対応
 やってほしい：あなたもできる防災・減災対策

2020年6月9日現在
 人と防災未来センター 主任研究員 楊 祥

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は世界的な流行が続き、最悪な状況が予想されていくことが考えられます。災害時にともなわれることなく、災害発生時や避難生活時のサポートや、災害発生時のケアや支援活動を行う、避難生活へのサポートが求められています。

災害時の外国人住民への対応については「新型コロナウイルス感染症に関する外国人住民への適切な対応の確保」の考え方を「018 特別レポート No.4」を参考してください。

概要
 レポートでは「被害者が発生するなか、もし災害が発生したら、あなたは何もできずに対応できずありまします」というテーマで外国人住民への適切な対応をまとめた。その結果から、多くの外国人住民が心配していることに対して一般的な対応をまとめていく。

◎自治体職員・避難生活相談員の皆様へ
 多くの自治体で対応が想定されています。その中に、外国人住民もいます。災害が起きる前に、積極的に外国人住民のニーズを把握していただき、事前に多言語避難生活相談や相談などの外国人住民への合理的配慮の提供を検討することが必要となります。その際に「知ってほしい：自治体で求められる外国人への合理的配慮」をご参照いただければ幸いです。

もし無関係な中間交流協会の、外国人が即座に来た、レポートの「外国人住民が感じている不安事項一覧と回答例 (Q&A)」をご活用いただければ幸いです。また、災害に備えていない外国人住民を含む避難生活に「知ってほしい：あなたもできる防災・減災対策」を参照していただき、事前に災害対策を講じていただく、おこなうことに向けていただければ幸いです。

◎外国人住民の皆様へ
 心配なことはたくさんあると思いますが、「外国人住民にしている災害準備」や「避難生活 (Q&A)」をご参照いただければ幸いです。また、行政からの「災害準備」や「知ってほしい：あなたもできる防災・減災対策」や「避難生活 (Q&A)」をご活用いただき、防災対策を事前にしっかりと考えて準備し、災害時に備わって行動ができるようにしましょう。

【内容】 防災・減災対策が知りたいところの2ページを掲載しました
 ●知ってほしい：自治体で求められる外国人への合理的配慮 p2
 ●外国人住民が感じている不安事項一覧と回答例 (Q&A) p4
 ●やってほしい：あなたもできる防災・減災対策 p14
 ●参考リスト p15

② 「知ってほしい：感染症蔓延期における災害時の外国人対応 やってほしい：あなたもできる防災・減災対策」
 (日本語、英語、中国語)
<https://www.dri.ne.jp/research/reports/special/188/>

【内容】

- * 知ってほしい：自治体に求められる外国人への合理的な配慮
- * 外国人住民が感じている不安事項一覧と回答例 (Q & A)
- * やってほしい：あなたもできる防災・減災対策
- * 参考リスト

人と防災未来センターと神戸の夜

人と防災未来センター

ご清聴、ありがとうございました！